

日本共産党 鎌ヶ谷市議会報告

【発行】 No.189
2019年 夏季号
【連絡先】
日本共産党鎌ヶ谷市議団
佐竹知之議員
電話・FAX 047-446-3729
090-9135-7421
松原よし子議員
電話・FAX 047-412-0430
090-3204-4324
松戸・鎌ヶ谷地区委員会
047-349-1544

2019年6月議会は、6月13日から28日まで開かれました。議案は全部で10件提案され、日本共産党市議団は議案7件と陳情2件に賛成。また、教育予算の拡充と地方自治体への財政措置を求める国への意見書及び建設業従事者のアスベストによる健康被害の補償を求める意見書採択に賛成しました。

一般質問 松原よし子議員



役職
議会運営委員、教育福祉常任委員。

学齢期以降のいわゆる「ひきこもり」問題対策について

質問 本市としての相談体制、関係課、関係機関との連絡体制はどうなっているのか。

答弁 「ひきこもり」に特化した相談窓口は設置していないが、障がい福祉課や健康増進課、社会福祉課、「基幹相談支援センター」などが、「基幹相談支援センター」がおが、連携を取りながら相談者と電話・面接・訪問などで対応している。精神科医師による精神保健福祉相談を月一回、市の総合福祉センターで行っている。

質問 相談対応後の成果にはどのようなものがあるのか。

答弁 高齢の親と子の世帯で、地

域包括支援センターと基幹相談支援センターが連携・同行訪問して信頼関係をきずきながら、親はデイサービスに、子は通所事業所に通い始めた例がある。

幼児教育・保育の無償化にか

質問 今回の無償化にあたり、これまで保育料の中に含まれていた副食費（おかず代）について実費徴収するとされているが、そうなると、これまで費用負担なく利用していた方々にとって逆転現象が起きてしまうのではないのか。

答弁 先般の国からの通知では、低所得者への副食費に係る負担軽減措置がなされ、現行の保育料の額を実費徴収額が上回ることはないことと認識している。したがって、現在保育料を負担していない方に新たに負担が生じることはない。無償化後の副食費含め、低所得者への負担軽減を踏まえ、また、想定される無償化に伴う財政負担も考慮した上で検討している。

質問 未来を担う子どもたちの発達を公的責任で保障していくとい

う視点が重要だと思うが、公立保育園は、今後も残っていくのか。

答弁 公立保育園は、市内に10施設ある小規模保育事業の卒園後の受け皿として、待機児童対策を進める上での役割や行政の1機関として他の行政機関との連携が図りやすく、特に配慮を必要とする子供の保育、地域の子育て支援等の役割を担っており、維持すべき重要な施設であると認識している。

国民健康保険行政について

質問 当市は窓口で全額負担となる「資格証明書」の発行がゼロというところで近隣市町村の議員等から「どうすれば実現できるのか」との質問を受ける。当市での具体的な対策の内容は。

答弁 平成30年にゼロになった。個別に生活状況を把握し、納付相談の上、その生活状況に合わせて納付額を決定して滞納の解消に努めてきた。



一般質問 佐竹知之議員



役職
党議員団代表、都市・市民生活常任委員

海上自衛隊下総基地の騒音・落下物・オスプレイの訓練等について

質問 下総基地の騒音被害については、これまでと違った別の地域からも苦情がある。飛行訓練コースが変わったのか。

答弁 変更はないが、季節によって風向きが変わるので年間を通して一方に偏らないように飛行訓練を行っているとのことだ。

質問 下総基地の主な訓練機種はP3Cと認識しているが、他の航空機も下総基地を訓練場として使っているのか。

答弁 習志野駐屯地空いて団の降下訓練で大型輸送機「C-2」が下総基地を使って訓練することもあるとのこと。

質問 基地での落下物事故について、経緯と原因についてうかがいたい。

答弁 本年3月に気象観測用のバルーン及び金属製の浮力計が民家の敷地に落下。作業員が誤って手を離してしまった人為的ミスとのこと。また航空機のラッチアッシーという部品と、尾灯のカバーが紛失したというがまだ見つかっていないとの報告だ。

質問 基地側ときちんとした協定書を交わしておいた方が良くと思うが見解をうかがいたい。

答弁 災害時の協定は締結しているが、騒音や事故などの協定については締結していない。市民生活に大きな影響を与えるものであると認識しており近隣市と合同による定期的な要望を行なってはいるが他の基地などを参考に調査研究したい。

質問 垂直離着陸大型輸送機「オスプレイ」の下総基地での訓練は断固拒否するべきと思うが市の見解をうかがいたい。

答弁 良好な生活環境の維持を基本に考えており、基地側と面談等の際には「オスプレイ」の配備計画等がないかを確認しているが「現在のところ予定はない」旨の回答を得ている。引き続き配備等の計画がないかについて情報の収集に努めていく。

災害時には住民の避難所にもなる学校体育館にエアコンの設置を

質問 今後ますます気温が上昇傾向にあると予測される。住民の避難場所にもなる学校体育館にエアコンを急いで設置すべきと思うが市の考えをうかがいたい。

答弁 空調機設置には建物構造にも負担がかかるため、補強等の措置も必要になることで設置費用に加えて経費が多額になる。空調機の設置にも小・中学校体育館合わせて13年間リースで22億円、ランニングコストが年間1億円程度かかり計画に位置づけることは難しい状況だ。

若い世代が定住する鎌ヶ谷市に

質問 若い世代が定住するための取り組みとして、空き家の利活用を考えてはどうか。

答弁 空き家等対策計画に基づき、公共施設等、地域活動の拠点、民間事業としての活用をはじめ、若い世代の支援や定住促進策については、空き家の利活用を含めて検討していく。

